

## 【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	北陸財務局長
【提出日】	平成25年2月13日
【四半期会計期間】	第62期第3四半期（自平成24年10月1日至平成24年12月31日）
【会社名】	田中精密工業株式会社
【英訳名】	TANAKA SEIMITSU KOGYO CO.,LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 岩井 逸雄
【本店の所在の場所】	富山県富山市新庄本町二丁目7番10号
【電話番号】	076(451)7651(代表)
【事務連絡者氏名】	営業企画部事業管理ブロックブロックリーダー 稲垣 浩靖
【最寄りの連絡場所】	富山県富山市新庄本町二丁目7番10号
【電話番号】	076(451)7651(代表)
【事務連絡者氏名】	営業企画部事業管理ブロックブロックリーダー 稲垣 浩靖
【縦覧に供する場所】	株式会社大阪証券取引所 (大阪市中央区北浜一丁目8番16号)

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第61期 第3四半期 連結累計期間	第62期 第3四半期 連結累計期間	第61期
会計期間	自平成23年4月1日 至平成23年12月31日	自平成24年4月1日 至平成24年12月31日	自平成23年4月1日 至平成24年3月31日
売上高 (千円)	25,410,191	33,523,550	36,373,050
経常利益 (千円)	4,724	1,045,468	631,527
四半期(当期)純利益又は四半期純 損失( ) (千円)	202,997	462,185	235,341
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	1,044,187	1,014,955	124,318
純資産額 (千円)	16,684,166	18,681,136	17,802,510
総資産額 (千円)	41,831,560	46,155,014	43,340,222
1株当たり四半期(当期)純利益金 額又は1株当たり四半期純損失金額 ( ) (円)	20.80	47.35	24.11
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	32.9	33.3	34.1

回次	第61期 第3四半期 連結会計期間	第62期 第3四半期 連結会計期間
会計期間	自平成23年10月1日 至平成23年12月31日	自平成24年10月1日 至平成24年12月31日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	23.10	19.75

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 第61期第3四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失金額であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。第62期第3四半期連結累計期間及び第61期の潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在していないため記載しておりません。

#### 2【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。なお、当社の連結子会社であった田中自動車部品工業株式会社、田中プレス工業株式会社及び田中技研工業株式会社は、平成24年4月1日付で当社と合併したため、第1四半期連結会計期間をもって連結の範囲より3社が減少しております。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。  
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

## 2【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、新たに締結した重要な契約は次のとおりであります。

### 技術供与契約

提携先	契約締結日	契約内容	備考	契約期間
タナカオートパーツインディア・プライベート・リミテッド(注)	平成24年10月1日	技術支援及び、ノウハウと工業特許権を使用するライセンスの提供	契約期間後毎年自動更新	自平成24年10月1日 至平成26年9月30日

(注) 上記の技術供与契約においては、ロイヤリティとして売上高の一定率を受取ることとしております。

## 3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

### (1) 業績の状況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要などを背景に、企業収益や個人消費において一部で持ち直しの傾向が見られたものの、中国をはじめとする新興国経済の成長鈍化や欧州の債務問題による海外経済の先行きへの懸念、円高やデフレの長期化など、依然として景気の先行きは不透明な状況で推移いたしました。

主要取引先である自動車業界では、秋以降の日中関係の冷え込みによる販売台数の減少はみられましたものの、一昨年の震災やタイの洪水影響により寸断されたサプライチェーンや、被災した完成車工場の復旧、また、新興国市場の拡大や米国市場の復調、国内エコカー減税延長や補助金の復活などにより、生産台数は震災前に比べ増加しております。

このような状況にあって当社グループは、国内では「将来を見据えた事業構造の改革」を図るため、製造子会社統合などボトム体質造りや、新機種取り込みに向けた開発や生産の体制・体質強化を、海外では、米国において受注した新規ロッカーアームの量産開始や、拡大するアセアン市場に追従するためのタイでの能力拡充、新たに稼働するタナカオートパーツインディア・プライベート・リミテッドのスムーズな立上げなど「新興国に負けないモノづくり体質の構築」を目指し、重点施策に取り組んでまいりました。

当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高につきましては、アセアン向け2輪部品の減少はみられましたものの、サプライチェーンの回復並びに新興国市場の拡大により、ロッカーアームをはじめ4輪部品は大幅に増加し、33,523百万円（前年同期比31.9%増）となり、損益につきましては、増収効果や全社を挙げての原価低減努力により、営業利益1,178百万円（前年同期比3,550.5%増）、経常利益1,045百万円（前年同期比22,027.6%増）、四半期純利益462百万円（前年同期は202百万円の四半期純損失）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### 日本

売上高につきましては、北米向けロッカーアームをはじめ、4輪主要製品が増加し、17,682百万円（前年同期比11.9%増）となり、78百万円のセグメント損失（前年同期は604百万円のセグメント損失）となりました。

#### 米国

売上高につきましては、顧客の北米生産の回復に伴うロッカーアームの増加や、為替換算影響により11,210百万円（前年同期比105.3%増）となり、718百万円のセグメント利益（前年同期比794.5%増）となりました。

#### タイ

売上高につきましては、完成車メーカーの洪水影響からの復旧に伴い、ロッカーアームをはじめ、4輪主要製品の増加や、為替換算影響により、4,630百万円（前年同期比11.5%増）となりました。利益につきましては、208百万円のセグメント利益（前年同期比32.8%減）となりました。

#### インド

売上高につきましては、生産開始予定が平成25年3月のため発生しておりませんが、設立費用及び設備立上げ費用等により60百万円のセグメント損失（前年同期は1百万円のセグメント損失）となりました。

### (2) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(3) 研究開発活動

当第3四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、820百万円であります。  
なお、当第3四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

(4) 従業員数

当第3四半期連結累計期間における従業員数の状況は以下のとおりであります。  
当社は、連結子会社であった田中自動車部品工業株式会社、田中プレス工業株式会社及び田中技研工業株式会社と、平成24年4月1日付で合併したため、当社の従業員数は、887名（前事業年度末比153名増）となっております。  
なお、当社及び被合併会社は同一（日本）セグメントに属しており、「日本」セグメントは1,093名（前連結会計年度末比12名減）となっております。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	32,640,000
計	32,640,000

###### 【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成24年12月31日)	提出日現在発行数(株) (平成25年2月13日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	9,763,600	同左	大阪証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数 100株
計	9,763,600	同左	-	-

##### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総数 増減数(株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成24年10月1日～ 平成24年12月31日	-	9,763,600	-	500,190	-	324,233

##### (6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

## (7)【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成24年9月30日）に基づく株主名簿による記載をしております。

## 【発行済株式】

平成24年12月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 2,800	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 9,760,400	97,604	-
単元未満株式	普通株式 400	-	-
発行済株式総数	9,763,600	-	-
総株主の議決権	-	97,604	-

## 【自己株式等】

平成24年12月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
田中精密工業株式会社	富山県富山市新庄本町二丁目7番10号	2,800	-	2,800	0.02
計		2,800	-	2,800	0.02

## 2【役員の状況】

該当事項はありません。



## 第4【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（平成24年10月1日から平成24年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】  
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,348,383	4,567,491
受取手形及び売掛金	5,778,966	5,958,916
有価証券	72,217	72,238
商品及び製品	1,923,728	1,997,785
仕掛品	1,891,607	2,301,201
原材料及び貯蔵品	2,514,958	3,093,876
その他	592,824	736,724
貸倒引当金	382	496
流動資産合計	17,122,304	18,727,736
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,188,000	5,674,555
機械装置及び運搬具(純額)	7,013,612	13,476,994
土地	2,538,969	2,545,407
その他(純額)	7,267,701	1,760,125
有形固定資産合計	22,008,283	23,457,083
無形固定資産		
その他	192,252	168,040
無形固定資産合計	192,252	168,040
投資その他の資産		
投資有価証券	2,786,280	2,674,880
その他	1,269,201	1,183,875
貸倒引当金	38,100	56,602
投資その他の資産合計	4,017,382	3,802,153
固定資産合計	26,217,918	27,427,278
資産合計	43,340,222	46,155,014

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,128,430	3,498,635
短期借入金	4,735,474	6,251,200
1年内返済予定の長期借入金	1,607,372	2,767,994
未払法人税等	25,009	332,810
引当金	16,000	20,925
その他	4,776,269	5,055,139
流動負債合計	14,288,556	17,926,705
固定負債		
長期借入金	7,793,391	6,663,884
退職給付引当金	1,783,576	1,383,796
資産除去債務	54,596	47,935
その他	1,617,592	1,451,556
固定負債合計	11,249,155	9,547,172
負債合計	25,537,712	27,473,878
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	500,190	500,190
資本剰余金	324,233	324,233
利益剰余金	14,060,930	14,425,507
自己株式	2,568	2,620
株主資本合計	14,882,784	15,247,310
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	989,733	893,854
為替換算調整勘定	1,090,472	787,587
その他の包括利益累計額合計	100,739	106,266
少数株主持分	3,020,464	3,327,559
純資産合計	17,802,510	18,681,136
負債純資産合計	43,340,222	46,155,014

( 2 ) 【 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 】

【 四半期連結損益計算書 】

【 第 3 四半期連結累計期間 】

( 単位 : 千円 )

	前第 3 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年12月31日)	当第 3 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年12月31日)
売上高	25,410,191	33,523,550
売上原価	22,197,739	28,706,228
売上総利益	3,212,452	4,817,321
販売費及び一般管理費	3,180,169	3,638,854
営業利益	32,282	1,178,467
営業外収益		
受取利息	2,175	1,647
受取配当金	34,677	40,366
スクラップ収入	88,863	92,427
受取補償金	-	20,112
その他	40,915	44,584
営業外収益合計	166,632	199,139
営業外費用		
支払利息	180,605	300,862
その他	13,584	31,275
営業外費用合計	194,189	332,137
経常利益	4,724	1,045,468
特別利益		
固定資産売却益	1,825	3,499
投資有価証券売却益	-	100
特別利益合計	1,825	3,599
特別損失		
固定資産売却損	63	28
固定資産除却損	17,945	18,618
投資有価証券評価損	600	-
貸倒引当金繰入額	2,100	18,499
特別損失合計	20,709	37,147
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失 ( )	14,158	1,011,921
法人税等	90,272	332,319
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失 ( )	104,431	679,601
少数株主利益	98,566	217,415
四半期純利益又は四半期純損失 ( )	202,997	462,185

【四半期連結包括利益計算書】  
 【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失( )	104,431	679,601
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	315,883	95,837
為替換算調整勘定	623,872	431,191
その他の包括利益合計	939,755	335,353
四半期包括利益	1,044,187	1,014,955
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	911,597	669,191
少数株主に係る四半期包括利益	132,589	345,763

【連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更】

連結の範囲の重要な変更

平成24年4月1日を合併期日として、連結子会社田中自動車部品工業株式会社、田中プレス工業株式会社及び田中技研工業株式会社を吸収合併したため、第1四半期連結会計期間をもって連結の範囲より3社が減少しております。

【会計方針の変更】

(減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ37,979千円増加しております。

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

(税金費用の計算)

四半期連結会計期間に係る法人税等については、当第3四半期連結会計期間を含む年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

保証債務

従業員の金融機関からの借入に対し、債務保証を行っております。

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)		当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
従業員12名	9,508千円	従業員12名	9,539千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
減価償却費	2,148,754千円	2,737,891千円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年6月24日 定時株主総会	普通株式	58,565	6	平成23年3月31日	平成23年6月27日	利益剰余金
平成23年11月1日 取締役会	普通株式	39,043	4	平成23年9月30日	平成23年11月30日	利益剰余金

当第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月22日 定時株主総会	普通株式	39,043	4	平成24年3月31日	平成24年6月25日	利益剰余金
平成24年10月30日 取締役会	普通株式	58,564	6	平成24年9月30日	平成24年11月30日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	日本	米国	タイ	インド	計
売上高					
外部顧客への売上高	15,798,593	5,460,245	4,151,352	-	25,410,191
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-
計	15,798,593	5,460,245	4,151,352	-	25,410,191
セグメント利益又は損失( )	604,574	80,375	310,868	1,804	215,134

平成23年12月インドにおいて、タナカオートパーツインディア・プライベート・リミテッドを設立したことに伴い、当第3四半期連結累計期間より報告セグメントに「インド」を新設しております。

なお、参考までに記載すると事業の種類別の状況は次のようになります。

(単位:千円)

	自動車部品製造事業	自動車販売事業	計	消去又は全社	連結
売上高					
外部顧客への売上高	22,956,538	2,453,653	25,410,191	-	25,410,191
事業の種類間の内部売上高又は振替高	-	12,504	12,504	(12,504)	-
計	22,956,538	2,466,158	25,422,696	(12,504)	25,410,191
営業利益	7,454	11,922	19,377	12,904	32,282

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	215,134
セグメント間取引消去	247,416
四半期連結損益計算書の営業利益	32,282

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間（自平成24年4月1日至平成24年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	日本	米国	タイ	インド	計
売上高					
外部顧客への売上高	17,682,875	11,210,236	4,630,438	-	33,523,550
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-
計	17,682,875	11,210,236	4,630,438	-	33,523,550
セグメント利益又は損失（ ）	78,790	718,919	208,762	60,788	788,104

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	788,104
セグメント間取引消去	390,363
四半期連結損益計算書の営業利益	1,178,467

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

該当事項はありません。

（のれんの金額の重要な変動）

該当事項はありません。

（重要な負ののれん発生益）

該当事項はありません。

（1株当たり情報）

1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 （自平成23年4月1日 至平成23年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自平成24年4月1日 至平成24年12月31日）
1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額（ ）	20円80銭	47円35銭
（算定上の基礎）		
四半期純利益金額又は四半期純損失金額（ ） （千円）	202,997	462,185
普通株主に帰属しない金額（千円）	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額又は四半期純損失金額（ ）（千円）	202,997	462,185
普通株式の期中平均株式数（株）	9,760,919	9,760,835

（注）当第3四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。前第3四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失金額であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。



(重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 2【その他】

平成24年10月30日開催の取締役会において、当期中間配当に関し、次のとおり決議いたしました。

(イ) 配当金の総額.....58,564千円

(ロ) 1株当たりの金額.....6円00銭

(ハ) 支払請求の効力発生日及び支払開始日.....平成24年11月30日

(注) 平成24年9月30日現在の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、支払いを行います。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年 2月13日

田中精密工業株式会社  
取締役会 御中

### 有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 上坂 善章 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 中川 敏裕 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている田中精密工業株式会社の平成24年4月1日から平成25年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成24年10月1日から平成24年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

#### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

#### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

#### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、田中精密工業株式会社及び連結子会社の平成24年12月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはX B R Lデータ自体は含まれていません。